

令和8年度 経済委員会 県外視察の概要

1 参加委員

古野 司（委員長）、原 徹臣（副委員長）、沢本 勝彦、
庄野 昌彦、仁木 啓人、寺井 正邇、近藤 諭、梶原 一哉

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
5月27日(水)	飯塚市文化会館（福岡県飯塚市）
5月28日(木)	博多漁港かもめ広場（福岡県福岡市）
	糸島農業協同組合（福岡県糸島市）
	福岡県庁（福岡県福岡市）
	福岡空港（福岡県福岡市）

3 調査目的及び視察概要

（1）飯塚市文化会館（福岡県飯塚市）

（調査目的）

飯塚市文化会館、愛称イイツカコスモスコモンは、1,500席の大ホールと600席の中ホールを備え、広場と一体となった文化芸術活動の拠点を担う施設である。また、2022年から2023年にかけて大規模改修を実施し、機能向上を図っている。

そこで、藍場浜公園に隣接した既存ホールと新ホールの一体運用を目指す本県の参考とするため、文化ホールの整備や運用体制について調査する。

（視察概要）

文化ホールの整備や運用体制について説明を受けた後、飯塚市文化会館を見学しました。



(2) 博多漁港かもめ広場（福岡県福岡市）

(調査目的)

博多漁港かもめ広場は、港独自の景観とインクルーシブな機能が融合し、多様な世代を呼び込む集客拠点となっている。また、同広場には、かつて博多を拠点に活動し、地域の発展に貢献した徳島出漁団の功績を称える底曳網漁船のスクリーンが展示され、地域のシンボルとなっている。

そこで、本県先人の歩みを伝える遺産をストーリー性ある観光コンテンツとして活用し、港湾景観を生かした賑わいの創出について調査する。

(視察概要)

博多漁港かもめ広場を見学しました。



(3) J A糸島産直市場「伊都菜彩」（福岡県糸島市）

(調査目的)

J A糸島が運営する「伊都菜彩」は、年間売上高約40億円を誇る日本一の農産物直売所である。全国屈指の集客力を支えるマーケティング、生産者の販路拡大支援、「糸島ブランド」の確立などにより、農業の収益性向上と地域農業の活性化を実現している。

そこで、本県における持続可能な農業振興施策の参考とするため、同施設の先進的な取組について調査する。

(視察概要)

伊都菜彩の取組について説明を受けた後、施設を見学しました。



(4) 福岡県庁（福岡県福岡市）

(調査目的)

福岡県は、福岡空港・北九州空港の2空港を核とした積極的な路線誘致や滑走路増設に伴うネットワーク拡充により、地方路線の維持・拡大で顕著な成果を上げている。また、九州観光機構等との緊密な連携による広域周遊の仕組みづくりは、国内屈指の先進事例である。

そこで、福岡県の地方航空路線の利用促進に関する取組及び広域観光連携の取組について調査する。

(視察概要)

地方航空路線の利用促進に関する取組と広域観光連携について説明を受けた後、意見交換を行いました。



(5) 福岡空港（福岡県福岡市）

(調査目的)

九州の空の玄関口であり、アジアの拠点空港として急速な発展を遂げている福岡空港では、自動手荷物預け機（SBD）や顔認証ゲート等デジタル・トランスフォーメーション（DX）を活用した空港運営の効率化及び顧客利便性の向上を実現している。

そこで、県営空港機能強化の知見を得るため、空港におけるDX推進の取組について調査する。

(視察概要)

空港におけるDX推進の取組について説明を受けた後、福岡空港国際線ターミナルを見学しました。

